

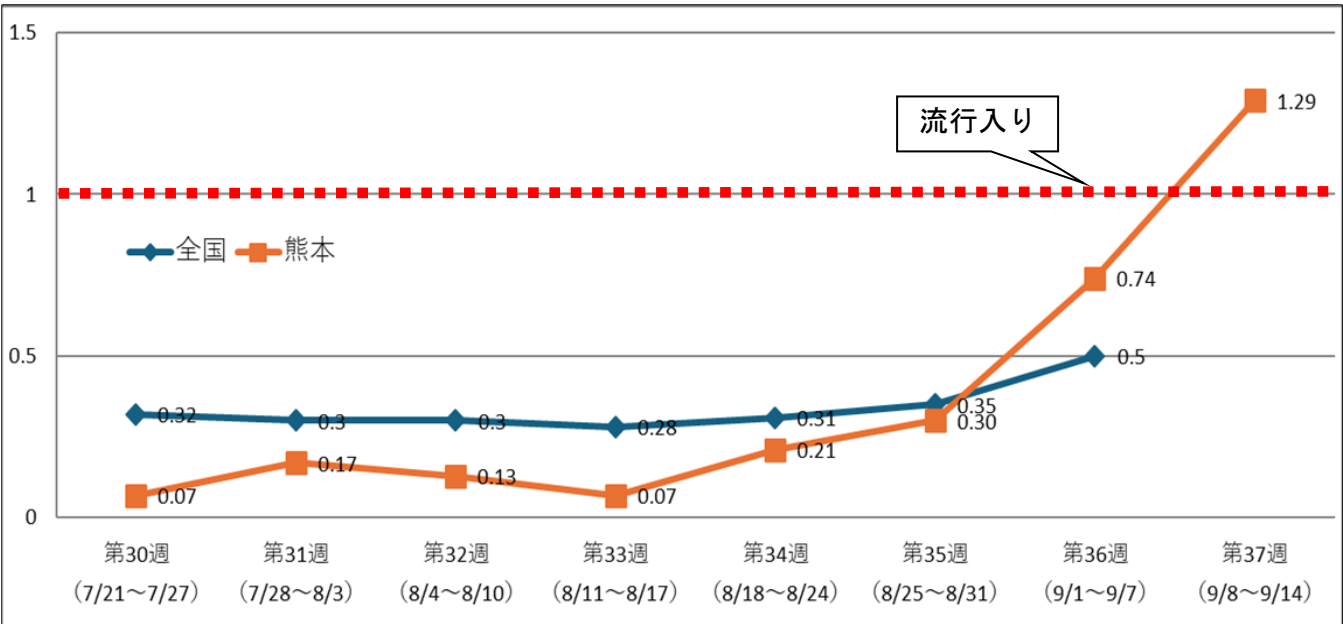
インフルエンザの流行期に入りました～感染予防に努めましょう～

○令和7年（2025年）第37週（9月8日～9月14日）の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)が1.29（定点数72か所、報告数93）となりました。流行開始の目安とされている1.00を上回ったことから、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。

○一人ひとりが正しい知識を身につけて、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかり実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。詳しい予防対策は、国や県のホームページを御覧ください。

※定点あたりの患者報告数とは、定点医療機関（あらかじめ選定された県内72医療機関）から報告された1週間の総患者数を定点医療機関数で割った値です。

○定点あたりの患者報告数



※全国の第37週の情報は、厚生労働省が9月19日（金）に公表予定。

○地域（保健所）別定点あたりの患者報告数

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第35週 (8/23～8/31)	0.00	0.00	0.14	0.67	0.20	0.43	0.00	0.40	0.14	1.40	0.80	0.30	0.35
第36週 (9/1～9/7)	0.79	0.00	0.57	0.33	0.40	2.14	0.00	1.00	0.29	0.40	0.60	0.74	0.50
第37週 (9/8～9/14)	0.67	0.00	0.14	2.00	1.20	6.86	1.00	0.00	0.00	2.60	0.20	1.29	

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の令和7年（2025年）第36週（9月1日～9月7日）の定点あたりの患者報告数は「0.50」となっています。
※厚生労働省の全国の発表は、毎週金曜日のため、1週古い情報になります。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。
※インフルエンザウイルスは大きくA型・B型・C型に分類され、国内で報告されるのは、主にA型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 肺炎や脳症などを併発して、重症になることもあります。
- ③ インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月か12月に始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。
- ③ 栄養・休養・睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿を心がける。
- ⑤ 早めにワクチン接種を行う。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場には無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人にうつさないため、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ せきエチケットを守る。
 - ◆ せき・くしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
 - ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
 - ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【過去のシーズンのインフルエンザ流行状況】

シーズン	初の臨時休校等	流行入りした週	注意報レベルに達した週	警報レベルに達した週
2019～2020	令和元年9月14日	令和元年第43週 (R1.10.21～10.27)	令和元年第49週 (R1.12.2～12.8)	—
2020～2021	—	—	—	—
2021～2022	—	—	—	—
2022～2023	令和4年12月6日	令和4年第50週 (R4.12.12～12.18)	令和5年第5週 (R5.1.30～2.5)	—
2023～2024	令和5年9月4日	昨シーズンから流行	令和5年第39週 (R5.9.25～10.1)	令和5年第47週 (R5.11.20～11.26)
2024～2025	令和6年10月1日	令和6年第42週 (R6.10.14～10.20)	令和6年第50週 (R6.12.9～12.15)	令和6年第51週 (R6.12.16～12.22)
2025～2026	令和7年9月4日	令和7年第37週 (R7.9.8～9.14)	—	—

【国が定める基準】

- ※1 流行入り ・ ・ 定点あたりの患者報告数 1.0
- ※2 注意報レベル ・ ・ 定点あたりの患者報告数 10
- ※3 警報レベル ・ ・ 定点あたりの患者報告数 30

（お問い合わせ先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：松本、徳永
電話：096－333－2240（直通）（内線 33154）